

2020年12月 6日 主日礼拝

司式：茨木長老

奏楽：村上

*以下、太文字の言葉はみんなで声を合わせます。

《神のみ前に近づく》

讃美歌 242-1~2節 (主を待ち望むアドヴェント)

序詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 241-1節 (来たりたまえわれらの主よ)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、私たちの疑い、迷う日々を憐れんでください。あなたの導きを待つことが出来ず、自分の知恵に頼って生きる私たちの罪をお赦しください。アドヴェントのこの時、「お言葉どおり、この身になりますように」と祈ることの出来る信仰を与えてください。

主よ、新しい月の歩みが与えられたことを感謝します。この月も、あなたに少しでも喜ばれる歩みができますように、御守りと御支えを私たちに注いでください。そして、まことの救い主こそ私たちに必要であるという思いを新たにされて、心から主を待ち望むことが出来ますように。

「天よ、喜び歌え、地よ、喜び躍れ。

山々よ、歓声をあげよ。

主はご自分の民を慰め、

その貧しい人々を憐れんでくださった。」

(イザヤ書 49:13)

*しばらく黙禱の時をもちます

主よ、私たちの心と体を生き返らせ、喜びで満たしてください。御名によって祈ります。アーメン。

本日の集會 礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後：・誕生祝福 ・聖歌隊練習

・会堂管理委員会 ・長老会

讃美歌 32 (キリエ) = 座ったままで

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

*司式者がローマ書5章6~9節を朗読します。

アーメン。

讃美歌 (聖歌隊) 21-179 (わたしの心は)

《神のみ言葉の宣教》

聖書

ヨブ記 1章 6~11節 (旧p775)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 12章 7~17節 (新p466)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 236-1, 2節 (見張りの人よ)

説教

『黙示録④ — 投げ落とされたサタン』
祝福の祈り 武田真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 474-1~3節 (わが身の望みは)

献金

奉仕者：岡田 岡野

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 (ともに祈りましょう)

報告

讃美歌 91-1節 (神の恵みゆたかに受け)

祝 禱

武田真治 牧師

後 奏

報告と退場

受付：松田頼子 森本 礼拝：岩井長老

お茶の会 当分の間休会です。

＜先週の説教から＞

『詩編⑫—世渡り上手？』

詩編 12：1~9 ルカによる福音書 1：46~56

詩編ははるか昔の祈りや歌ですが、現代の私たちの心情に通じるものも多く、驚かされます。この詩編 12 編もそのような祈りの一つです。この詩編の祈り人が被っていた状況は「人は友に向かって偽りを言い、滑らかな唇、二心をもって話します。」「彼らは言います。『舌によって力を振るおう。自分の唇は自分のためだ。わたしたちに主人などはない。』」でした。口が上手い者が世の中で成功し、言葉で言い負かした方が勝ちだと、平気です。それを言い、人をだましてお金を儲ける世の中の状態を嘆いているのです。まさに私たちが生きている今の社会状況と同じではないでしょうか？

特にここで彼らは『わたしたちに主人などない』と誇らしげに語っています。明らかに神様を無視し、侮っている言葉です。そして、更に彼らは、自分たちに従わない者やこの世のあり方に沿わない者達を疎み、迫害します。この祈り手は、自分たちのような地上の権力者にこびず、神様に従って生きる信仰者たちを迫害する、この社会の状況から「主よ、お救いください」と祈り願っているのです。

ある解説者はこの詩編を《共同体の嘆きの歌》だと読んでいます。確かに個人的な祈りや願いではありません。今の世の中に置かれている自分たち信仰者のことを救い出して下さいという祈りです。礼拝に集い、その会衆を代表して祈っているのです。これは私たちの礼拝で言えば《とりなしの祈り》ではないでしょうか。その祈りに「主は言われます。『今、わたしは立ち上がり、彼らがあえぎ望む救いを与えよう。』」と答えてくださるのです。それがまさにクリスマス、イエス様の御降誕です！